

阿蘇の厳選スポット

阿蘇ジオパークには、30カ所以上の地理的な見どころ「ジオサイト」があります。その中でも特に見逃せないスポットをいくつかご紹介します。

1. 大観峰

展望ポイントである大観峰からは、しばしばカルデラの最高の眺めとされる景色を望めます。

この見晴らしの良い地点からは、中央の円錐火山群、地元の人々が何世代にも渡って農業を営んできた草原、そして向かい側のカルデラの壁を見ることができます。かなたに見える阿蘇五岳は、横になっている仏陀の姿に似ていると言われています。秋には、逆転層と呼ばれる現象によって、カルデラが雲の「海」で満たされます。

2. 二重峠（ふたえのとうげ）

「ふたえ」は日本語で二つ重なる層を意味します。伝説によると、健甕龍命（たけいわたつのみこと）という神が、当時巨大な湖であった阿蘇カルデラの壁を蹴破って中の水を空にしようとしたそうです。しかし、壁は二重の厚みがあったため、どれだけ頑張っても壁に穴をあけることはできませんでした。

江戸時代（1603-1868）、阿蘇の大名は、毎年行列を成して昔の首都であった江戸（現在の東京）と阿蘇を往復する道中でこの峠を越えました。現在ここを訪れる人は、峠を通る古い石畳を歩き、景色を眺めながら当時の阿蘇に思いを馳せることができます。

3. 草千里

この78万5千平方メートルの草原は、烏帽子岳の側面に広がっています。草千里は、3万年前に形成された休火山の火口内にあります。草原の中にさらにもうひとつ、より年代が浅い火口があり、雨水が溜まって二つの池になっています。時折、東にある活火山、中岳から噴煙が上っているのが見えます。

阿蘇の草原の維持には家畜が利用されており、草千里は昔から牛や馬の放牧地としての役割を担ってきました。ここを訪れる人は、馬に乗って草原を散策することができます。

4. 的石御茶屋跡

二重峠の石畳は、かつて江戸（現在の東京）までの長い道中を旅する人々が利用した御茶屋（teahouse）の跡地に続いています。御茶屋の建物はもうないものの、非常に美しい庭と池は、特に秋になって木々が鮮やかな赤と黄色に変わる時期には、休憩するのに気持ちの良い場所です。

5. 仙酔峡

仙酔峡は、非常に古い溶岩の形成物に囲まれています。海拔 900 メートルに位置するこの渓谷は素晴らしい阿蘇カルデラの景色が見られる場所であり、また複数の登山道の入り口でもあります。ここでは 5 月と 6 月に 5 万本のミヤマキリシマツツジが咲き乱れ、渓谷を鮮やかなピンクと紫に染め上げます。

6. 阿蘇神社

健甕龍命（たけいわたつのみこと）という神を祀る阿蘇神社は、日本最古の神社のひとつです。この神社では、年間を通して稲作と野焼きに関連する数々の季節ごとの祭りが催されています。火振り神事と呼ばれる儀式では、参加者は燃える干し草の縄を振り回して豊穡を祈願します。おんだ祭りという別の収穫を祈願する祭では、頭からつま先まで白装束に身を包んだ女性たちの行列が、装飾のほどこされた箱を頭の上に運びながら神社に向かって歩きます。

阿蘇神社は、2016 年の地震で損壊したため、現在修復工事が行われています。

7. 中岳第一火口

阿蘇カルデラの中心近くに位置する中岳では現在も火山活動が続いており、時折小規模な噴火が起こります。状況が許せば、この火口の中を覗いて蒸気の立ちのぼるエメラルドグリーンの酸の湖を見ることができます。